

第２次南砺市DX推進計画

持続可能な地域社会の実現に向けて

～誰ひとり取り残さない、人にやさしいデジタル化～

策定：２０２６年３月
一部修正：２０２６年９月
富山県南砺市

はじめに



計画策定の趣旨

南砺市では、2021年にDX推進計画を策定し、様々な取り組みを進めてきましたが、社会情勢の変化やデジタル技術の進展を受けて、新たなDX推進計画を策定しました。

「誰ひとり取り残さない、人にやさしいデジタル化」をテーマに、市民の利便性を高め、地域全体が持続可能な社会を実現することを目指します。

2026年9月一部修正

- 生成AIをはじめとする技術の飛躍的進化に対応し、計画に「AX」の視点を追加。
- AXの取り組みを推進するための組織体制の見直し、「アジャイル」な推進手法を追加

詳細版：3ページ

計画期間

5年間の計画

本計画の対象期間は、5年間とします。

2026年4月1日（令和8年度）から

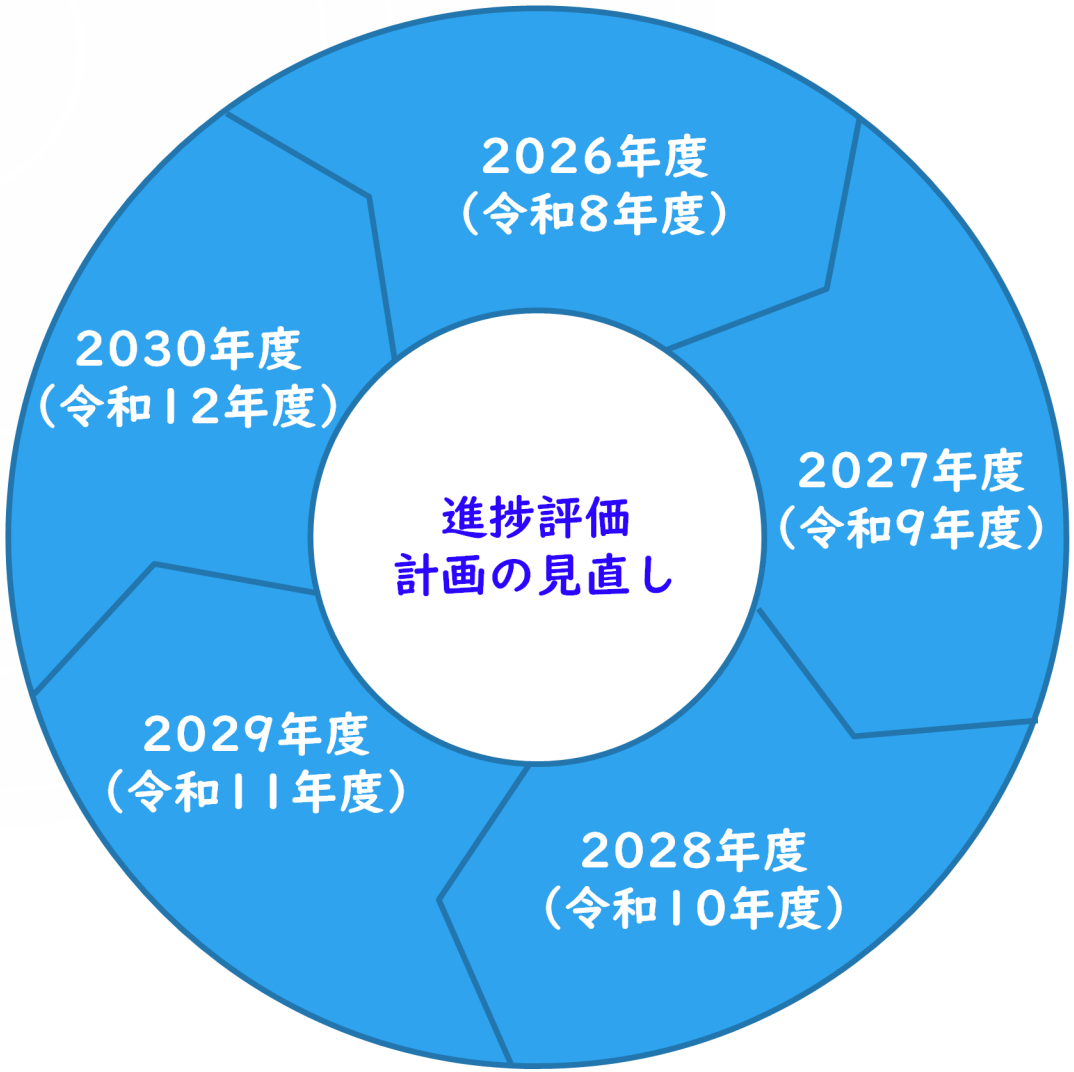
2031年3月31日（令和12年度）まで

進捗評価

各年度ごとに進捗を評価し、必要に応じて計画の見直しを行います。

持続可能な発展

持続可能な発展を目指し、柔軟に対応していく姿勢が重要です。



詳細版：6ページ

基本方針

DXビジョン

誰ひとり取り残さない、
人にやさしいデジタル化

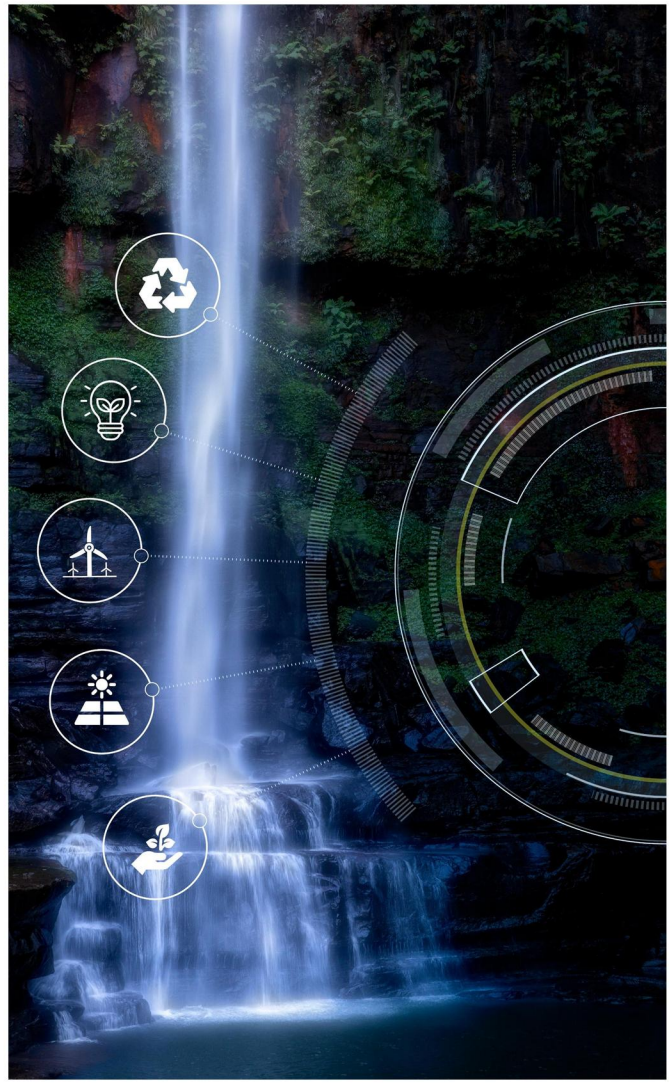
デジタル技術の活用
持続可能な社会の構築
デジタル・シティズンシップの醸成

自治体
職員

住民

事業者

関係市民



詳細版：16ページ

デジタル・シティズンシップ：デジタル技術の利用を通じて、社会に積極的に関与し、参加する能力

基本目標

DXビジョンを実現するため、４つを基本目標とし、AI活用を推進します。

子育て・高齢者

市民一人ひとりが安心してデジタルサービスを利用できる環境を整える

行政のデジタル化

デジタル技術を活用し、行政の効率化と生産性の向上を図る

まちづくり

多様なデータを友好に活用し、地域の課題解決や魅力的な地域づくりを目指す

産業・観光

自然や文化、伝統などの地域資産の価値や貴重性を発信し、次世代へ価値をつなぐ

詳細版：17ページ

重点施策

重点施策 新規

基本目標に向け、今後取り組むべき分野を５つの重点施策として定め、これまで築いてきたDXの取り組みを継承・強化しながら、AI活用による変革を融合していきます。

1. DX/AXによる市民サービスの質的向上

2. 柔軟な働き方による地域のウェルビーイングの向上

3. データ活用による地域経営と共創

4. 地域資産のデジタル活用と未来への継承

5. 誰ひとり取り残さないデジタル人材育成と社会基盤強化

詳細版：19ページ



Ⅰ．DX/AXによる市民サービスの質的向上

行政手続きの簡素化　継続・強化

デジタル化とAIの活用により、複雑な行政手続きが簡素化され、市民にとってアクセスしやすくなります。

迅速な手続き　継続・強化

オンライン手続きの導入とAIの活用により、処理時間が短縮され、迅速なサービス提供が可能になります。

利便性の向上　強化

市民がいつでもどこでも手続きを行えるようになり、生活の質が向上します。

詳細版：20ページ



2．柔軟な働き方による地域のウェルビーイングの向上

仕事と生活のバランス　新規

柔軟な働き方は、地域住民が仕事と私生活のバランスを保つのを助けます。これにより、ストレスが軽減され、生活のクオリティが向上します。

テレワークの推進　強化

テレワークの導入は、通勤時間を削減し、地域住民がより柔軟に働ける環境を提供します。これにより、生活の質が向上します。

コミュニティのサポート　継続

地域コミュニティのサポートは、住民が柔軟な働き方を受け入れやすくし、相互支援の文化を促進します。

詳細版：21ページ

３．データ活用による地域経営と共創

地域経営の効率化　継続・強化

データ活用とAIの活用により、地域経営のプロセスを効率化し、成果を最大化します。

共創の促進　新規

地域住民や企業と共に協力し、地域課題の解決に向けて共創を進めます。

地域課題の解決　継続・強化

データを基にAIの分析により地域の特性に合った解決策を模索し、持続可能な地域発展を目指します。



詳細版：21ページ



4．地域資産のデジタル化と未来への継承

アクセス性の向上　継続

デジタルアーカイブにより、地域資産へのアクセスが容易になり、多くの人々に情報が届けられます。

情報の共有　継続

地域の歴史や文化に関する情報を広く共有することで、コミュニティのつながりが強化されます。

次世代への継承　強化

デジタルアーカイブは、地域の歴史や文化を次世代に引き継ぐ重要な手段となります。

詳細版：21ページ

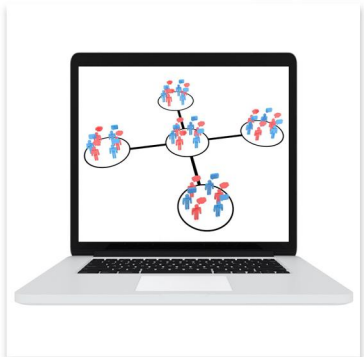
５．誰ひとり取り残さない
デジタル人材育成と社会基盤強化



デジタル人材育成　継続・強化

地域におけるデジタル人材の育成により、技術力を高め、地域経済の発展に貢献します。

庁内のDX/AX人材を育成し、市民サービスの維持・向上に繋げます。



プラットフォームの構築　新規

デジタル人材が交流できるプラットフォームを作成し、協力とイノベーションを促進します。



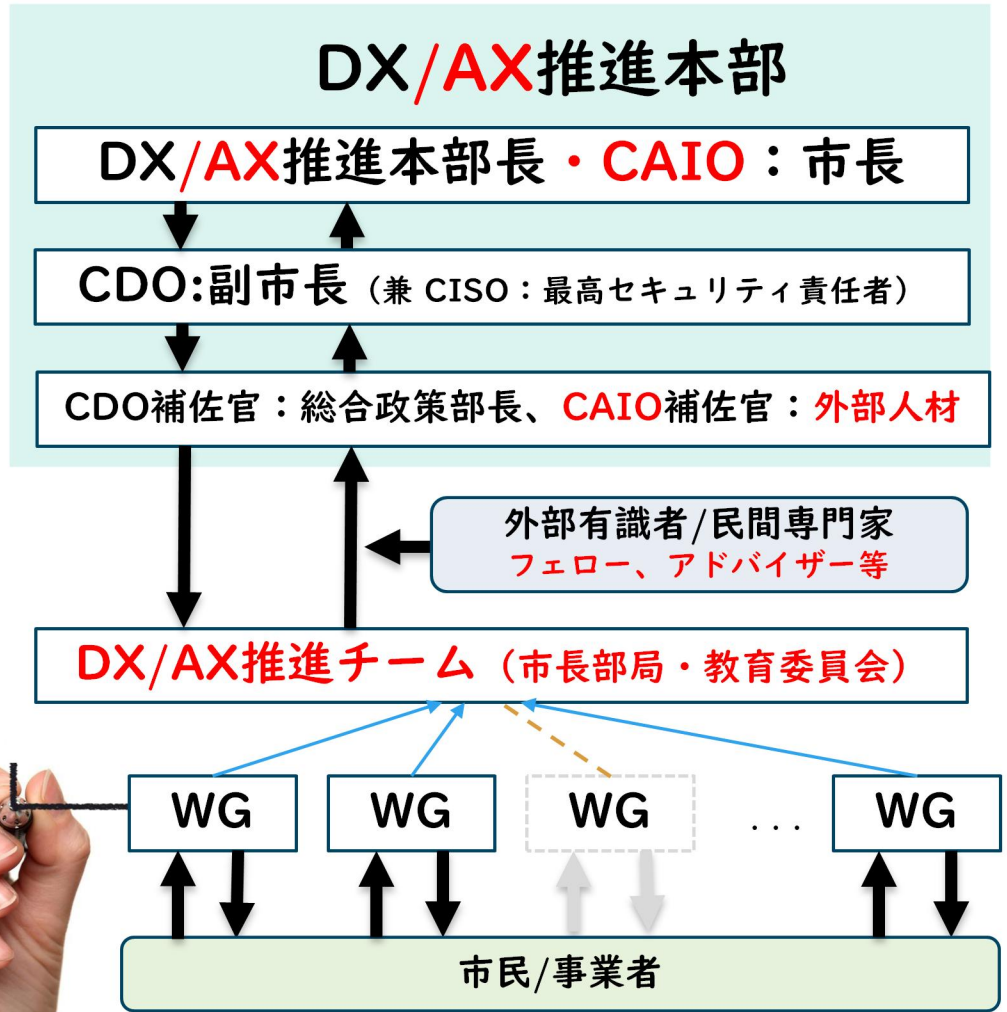
高齢者・初心者向けデジタル　継続
サポート体制の強化

デジタルデバイドへのサポートを強化します。

詳細版：22ページ

推進体制

組織体制の整備



全庁横断的なDX・AX戦略の策定・推進に向け投資判断、人材育成、技術導入を通じ、デジタル化・AIの活用推進と業務改革・変革を主導

専門知見で助言・連携促進

全庁的なDX/AX推進の企画・調整・支援

DX/AX推進リーダー（各部局から選出）
現場課題の抽出から施策検討・実行

協業・協働・支援

詳細版：22ページ

※CAIO:Chief AI Officer(最高AI責任者)、CDO:Chief Digital Officer(最高デジタル責任者)、AX:AI Transformation(AIによる変革)

「アジャイル」な推進手法

完璧を求めず、小さな実証を迅速に

アジャイル思考の定義：「変化に適応しながら、より良い価値を提供し続けること」

従来手法（ウォーターフォール）



失敗時の軌道修正が困難

アジャイル手法（AX推進の基本）



- スピーディーに回す・学ぶ
- 柔軟に軌道修正する

詳細版：24ページ

EOF